

## 平成25年度 第7回教育研究評議会議事録

日 時 平成25年10月16日（水）14時30分～17時00分

場 所 事務局大会議室、総合研究棟10階会議室

出席者 伊東、石井、碓氷、浅利、前田、柳澤、杉山、木村、東郷、中野、鈴木、今野、寺村、平岡、梅澤、國宗、菅野、西原、酒井、藤井、増田、青山、塩尻、佐古、星野、中山、糠谷、河合、鳥山、永津、渡邊、三村、高松の各評議員

欠席者 田中、朴の各評議員

陪席者 大戸監事

中村、佐藤の各学長補佐

齋藤グリーン科学技術研究所副所長

### I 議事録の承認について

平成25年度第6回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 静岡大学教員の任期に関する規則の一部改正について

石井委員から、農学研究科の助教を任期制の適用から除外することに伴う、標記規則の一部改正について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、本年4月の改正により、任期途中の教員の任期を研究科の教授会等での審査により外すことや、任期を付さないで採用することもできることとなった旨の説明と、情報、理学、工学及び農学研究科の大きくくり化、年俸制の導入等の検討に併せ、標記規則の全体の枠組みについては改めて議論を行う必要がある旨の発言があった。

#### 2 静岡大学安全衛生センター規則の一部改正について

柳澤委員から、平成25年4月1日に設置された安全衛生センターにおける安全衛生業務の更なる充実を図ることに伴う、標記規則の一部改正について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 3 静岡大学安否情報システムを用いた学生及び教職員の安否確認に関する要項の一部改正について

前田委員から、安否情報システムの整備による機能拡充のほか、当該システムの管理・運用体制の再整備を行うことに伴う、標記要項の一部改正について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、本システムが学外から閲覧可能であることについて、各学部等から学生の父兄への各種通知の際に、併せて周知することを考慮願いたい旨の発言があった。

#### 4 創造科学技術研究部、電子工学研究所及びグリーン科学技術研究所を本務並びに兼務とする教員等の評価及び処遇等に係る取扱要項の制定について

東郷委員から、9月の本会議（H25.9.18）において提案した本要項の変更箇所について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、本要項の範囲において、創造科学技術大学院教授会構成員のうち本務（コア）教員及び兼務（サブコア）教員を除く教員について「兼務」と表現している旨の発言があった。

#### 5 静岡信用金庫との産学連携に関する業務協力提携について

木村委員から、本学と静岡信用金庫との産学連携に関する業務協力提携について、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 6 平成26年度非常勤講師所要時間数について

石井委員から、各部局からの申請に基づき全学教務委員会において確認された、平成26年度非常勤講師所要時間数について、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 7 共通経費による電子ジャーナルについて

高松委員から、拡大電子リソース検討ワーキンググループにより検討された中間報告に基づいた、①電子リソースについて平成26年度は、経費不足分を学生用図書費の流用により現状を維持すること②平成27年度以降の方針、財源等を検討するための同ワーキンググループの継続について、資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、平成27年度以降については、学生用図書費を安易に流用することとないよう検討願いたい旨の発言があった。

#### 8 バンドン工科大学（インドネシア共和国）との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、標記大学間交流協定の締結について、資料8により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 9 イエナ応用科学大学（ドイツ連邦共和国）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記大学間交流協定の更新について、資料9により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

### Ⅲ 報告事項

#### 1 企画戦略会議報告

議長から、第6回企画戦略会議（H25.10.2）について、資料10により報告があった。

## 2 経営協議会報告

議長から、第4回経営協議会（H25.9.27）について、資料11により報告があった。

## 3 非常勤講師旅費の改定について

石井委員から、平成25年10月9日役員会で承認された、非常勤講師の日当及び宿泊料の単価の改定について、資料12により報告があった。

## 4 科研費申請支援アドバイザーの委嘱について

碓氷委員から、平成26年度科研費申請支援アドバイザーの委嘱について、資料13により報告があり、アドバイザー制度を活用した第三者のチェックを経ることの重要性について説明があった。

なお、議長から、特に科研費採択のボーダーライン上の教員については、当該部局長から本制度を活用させる働きかけを行うよう要請があった。

## 5 不正再発防止について－謝金（実験補助・資料整理等）の取扱いの変更について

前田委員から、学生に対する謝金の支給に関し不適切経理が発覚したことに伴い、再発防止を目的とした、謝金（実験補助・資料整理等）の取扱いの変更について、資料14により報告があった。

なお、議長から、業務により謝金、雇用または請負の契約形態とすることについて、検討するよう発言があった。

また、同委員から、本取扱いは、財務担当者から各部局教授会において説明し、平成25年12月1日以降実施の謝金業務から適用する旨の発言があった。

## 6 平成25年度監事による業務監査の実施計画について

議長から、平成25年10月3日に監事から、標記業務監査の実施計画が提出されたことについて、資料15により報告があり、関係部局への協力要請があった。

なお、大戸監事から、監査項目について補足説明があった。

## 7 平成25年度静岡大学大学院入学試験実施状況について

石井委員から、平成25年度10月入学者の大学院入学者選抜試験実施状況について、資料16により報告があり、定員充足率については、今後の組織見直しの判断材料になるとの発言があった。

## 8 平成26年度行事予定表について

石井委員から、平成26年度行事予定について、資料17により報告があり、全学一斉地震防災訓練が追加されたこと及び浜松地区の7月の補講は日曜日を避けた日程としたことの説明があった。

**9 国立台北科技大学（中華民国）との大学間交流協定の締結について**

鈴木委員から、標記大学間交流協定の締結について、資料18により報告があった。

**10 サンクトペテルブルグ国立工業大学（ロシア連邦国）との大学間交流協定の締結について**

鈴木委員から、標記大学間交流協定の締結について、資料19により報告があった。

**11 ノンラム大学（ベトナム社会主義共和国）との大学間交流協定の更新について**

鈴木委員から、標記大学間交流協定の更新について、資料20により報告があった。

**12 教員採用等報告について**

議長から、教育学部3名及びイノベーション社会連携推進機構2名の教員の採用等について、資料21により報告があった。

**IV その他**

**1 超領域国際シンポジウムについて**

齋藤グリーン科学技術研究所副所長から、超領域国際シンポジウムの開催（H25. 11. 18～19開催）について、資料22により案内があった。

以 上